

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。ヨハネ 3 章 16 節

イエスのカリタス友の会の皆様 クリスマスおめでとうございます。日頃から寛大なお心で、友の会のためにご奉仕くださる皆様の上に神様の豊かな祝福をお祈りしています。

毎年クリスマスを迎える頃になると、スモールクワイアのコンサートなどで、“クリスマスの本当の意味”について考える機会に恵まれます。最近目にした「クリスマスの捧げもの」という文章では、神様のお気持ちを八木重吉の詩「桃子よ」から説明していました。詩の一節です。

桃子よ

お父さんの命が要るときがあったら

いつでもおまえにあげる

自分の命さえ惜しまない八木重吉の、長女桃子への愛おしき、あふれる思いが伝わってきます。私たちは、このような親の愛情を通して、「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された」という聖書のみことばを、実感として理解することができます。もちろん神の愛は親の愛をはるかに超えていますから、神の愛を本当に悟るためには信仰が必要です。

神が私たちを愛し、そのひとり子イエスを、私たちに「罪から救う方」「共におられる神」として、この世界に与えてくださいました。私たちは、神とイエスへの応答として感謝と喜びを捧げるのです。この“クリスマスの本当の意味”が、多くの方々に伝わるよう願っています。

ところで、小さな者である私たちは、どのようにして神に感謝と喜びを捧げることができるのでしょうか？教皇フランシスコは、祈り、他の人への献身、しかもささやかなことを積み重ねることを勧めています。

例えば、シンプルな祈りとして、アルゼンチンの司教の時代、祈りの招きに使っていた「5本の指による祈り」を勧めています

①親指は自分に一番近い指。このように自分のそばにいる人たちのために祈ることから始めましょう。その人たちのことはすぐに心に浮かぶし、愛する人のために祈るのは、「こちよ義務」です。

②人差し指。教える人、教育する人、医療に従事する人、つまり先生、医師、聖職者のために祈りを捧げましょう。彼らは他者に正しい道を示すため、支えと知恵を必要としています。

③一番背の高い指、中指。私たちのリーダーが思い起こされます。首相、代議士、企業の上司、経営者たちのために祈りましょう。この人たちはわたしたちの国の未来を形作り、世論を導くからです。彼らには神の導きが必要です。

④思いのほか、一番弱い薬指。この指は、たくさんの問題をかかえたり、病気のためにうちひしがれているもっとも弱い人たちの思い起こさせます。昼も夜も、あなたの祈りを必要としています。指輪をはめるので、夫婦のために祈ることも思い起こさせます。

⑤最後の指は、いちばん小さな指です。わたしたちは、神と人々の前で、このように自分を見なければなりません。小指は自分自身のために祈ることを思い起こさせてくれます。先の4つのグループのために祈った後で、自分のために必要なことも見分けられ、神様にもっとよりよく祈ることができるようになっているでしょう。



この“5本の指の祈り”のような祈りや、私たちの手を通して捧げる細やかな愛のわざを積み上げていく時、神は喜んでくださり、私たちの生活はさらに豊かなものとなることでしょう。皆様も、ご自分の手を意識して、この祈りを実践してみたいかがでしょうか。

最後にスモールクワイアの新しいCDについてお知らせいたします。神様の愛がより多くの方へ届くようにと祈りを込めて収録したCD「光の道へ」が完成致しました。どうぞご利用ください

新しい年も、困難の中にある方々に、皆様の祈りと愛の実りをお届けできるよう、私たちイエスのカリタス友の会事務局も励みます。これからもどうぞよろしくお願い致します。



ペルーより感謝のお便り

アントニオカヴォリ学園 コピー機購入費の支援

アントニオカヴォリ学園のために、数年前に友の会のご協力により、コピー機を購入することができました。学校の必要で、子供たちのテスト用紙、教材、事務所の書類などに使用しているうちに、故障の回数も多くなり、修理して使用してき

ましたが、しかし、だんだん修理代がかさむようになって来ました。

新しいコピー機の購入のためにご協力をよろしくお願いいたします。

申請金額合計 1,100 ドル

この申請について、資金全額を支援することが可能であったため、申請は受け入れられ、ペルーへ全額お渡しすることが出来ましたことを報告申し上げます。

イエスのカリタス友の会様

11月も深まり、冬支度が始まる季節をお迎えることと思います。皆様いかがお過ごしでしょうか。こちらリマは、いくらか汗ばむ季節になり、暑い夏がすぐそこまで来ていると感じる今日この頃です。

お礼が大変遅くなりましたが、先日には、アントニオカヴォリ学園のコピー機購入のためにご協力いただき、ありがとうございました。やっと、購入し、早速使用させていただいております。今までは、必要のたびに、事務員がコピー屋さんまでいかなければならず、苦勞していましたが、子

供たちの試験や教材準備、教職員の授業準備に欠かせないので、今回のコピー機購入で、大変助かっております。

ご寄付くださっている会員の方々、また、事務局の方々に、改めてお礼を申し上げます。皆様の奉仕の精神に、神様が豊かにお報いくださいますようお祈りし、お礼とさせていただきます。

2018年11月20日

アントニオカヴォリ学園

校長 シスターマリアミカエラ山田





クリスマスメッセージ

ペルーより

ペルー共同体より感謝とクリスマスのお祝いを！！

マリアタキ保育園

“ありがとう、かみさま、ありがとう。たくさんのおめぐみを”と園児たちの大きな声が聞こえてきます。子供たちは何に感謝しているのでしょうか。今年、保育園の外壁工事が終わりました。子供たちは安心して第2の家庭、マリアタキ保育園で過

ごせます。子供たちは神様と神様が送ってくれた恩人たちに感謝しているのです。皆様の上にお恵みが、そして、すべての人々、特に心に悲しみを抱いている人々に慰めが与えられますよう、シスターたちと子供たちと心を合わせてお祈り致します。

保育園職員より



アントニオカヴォリ学園

世界中の人々、特に日本の恩人たちにクリスマスのメッセージを送ります。宗教の時間に、シスターが教皇様のお勧めを教えてくださいました。「イエス様の弟子になるには、悪いことをしないだけでは足りません。良いことをしなければ本当の弟子ではありません。」と。私たちは、クリスマスにたくさんの子供たちが、クリスマスのプレゼントをい

ただけるように、特別にクリスマス献金、物資集めをしています。そして、低学年の生徒が困っているときには助け、教皇様の教えを実行しています。クリスマスには幼子イエス様が、私たちに祝福しに来てくださり、私たちと世界の子供たちの心が喜びに満たされますように。

アントニオカヴォリ学園生徒より



マリア様は、幼きイエス様のために私たちが一つのゆりかごを準備することを望んでいます。周りの人々に対して、親切と快活さをもってイエス様

が喜んで休んで下さるよう、私たちの心のゆりかごを飾りことができますように

ペルー共同体一同より

ボリビアより



2018年も、様々なドラマが繰り広げられました。年の締めくくりに、ボリビアより、皆様に、クリスマスと新年のご挨拶と喜びを申し上げることが出来ますこと、シスターズ一同、心より感謝しています。

オガールファティマ乳幼児院では、日本管区から出向している小柄ですが、頼もしいSr.マリア・ステッラ山下と共に、0歳から5歳までの約60名の子どもたちの成長を見守ってきました。特に、「愛されていると感じられる」養育やモンテッソーリ教育の充実を図り、様々な行事や日常のお世話を通しての早期教育にも力を入れてまいりました。いよいよ11月に、10名の子供たちが、幼稚園を卒園し、巣立っていきます。子どもたちの長〜い人生の中で、オガールファティマで過ごす時間は、短くて憶えていないかもしれません。しかし、受けた愛と信仰の灯は、魂の中に灯り、これからの未来を照らしてくれると信じています。2018年、特にオガールファティマの生活を支えて頂いたことに感謝申し上げます。

オキナワコロニアでの宣教は、担当者であるSr.パオラ樞山が、韓国人のサロモン神父様を助けて、日本移住地の方々の霊的生活を支援しています。辺境の地における、聖職者・修道者の生きた証・存在の大切さを感じます。

カリタス学園では、年度末を迎え、今年は、公立高校97名、私立高校28名の生徒が、14年の学生生活を終えて、学園を巣立っていきます。複雑な家庭環境、マスメディアの乱用とその影響、麻薬やコカインの問題、いじめの表面化と深刻化、価値観の喪失、多宗教化などの問題が日常化してきました。しかし校内では、文化発表、体育大会、音楽フェスティバルなど生徒たちの輝く青春ドラマが繰り広げられ、校長Sr.テレジア川端を中心に、毎日様々な課題に向かい合っています。

皆様に応援して頂いた、コチャバンバ修道院は、

この2018年をもって、その使命を終えることになり、Sr.ヨハンナ林が、最後の締めくくりに奔走しております。コチャバンバ県は、標高約2500mの高山地にあるボリビア第3の都市で、高いの町、食の町といわれ、美しい花の産地でもあります。そして、カトリック教会では、修道会の管区本部や養成の家が多いため、ボリビアのヴァチカンと言われて、歩けば、修道者か聖職者に会うといわれるほどです。1997年に養成の家として開設された修道院は、20年間、オラトリオ、保育園、子供支援センター、家庭の使徒職などで、地域の霊的なセンターとして、人々に寄り添い、心の拠り所として地域の方々や多くの方々と共に歩んできたことが出来ました。閉じることは苦渋の決断でしたが、次の宣教のための決断でもありました。この足跡が、ボリビアの人々の心の中に刻まれていくことを希望しつつ、これからまた新しいページに神様の愛を綴って参りたいと思っています。今まで、ご支援いただき本当にありがとうございました。

ところで、近年、ベネゼエラをはじめ、ニカラグア、アルゼンチンなど、中南米の国々の政治経済は、不穏な動きを見せ、多くの人々はその犠牲になっているようです。ボリビアでも、現大統領は、3期以上大統領選挙に出馬できるよう憲法を強引に変えてしまいましたので、各地で混乱が広がっており、デモ、署名運動、集会など平和的な方法で、政府に抗議しています。カトリック教会も抗議していますが、教会は、政治に口を出さないようにと脅かされています。さらに政府はカトリック学校への介入やオガールファティマのような福祉事業への補助の削減や制限など、私たちの日常生活にも切実な問題として、影響を及ぼしています。このような中で、いつも犠牲になるのは、か弱く、小さな者たちです。様々な困難がありますが、神のみ旨を探しながら、み摂理と支援者の皆様に信



頼し、神様の愛をボリビアの人々に伝え、分かち合い、寄り添っていくことができることを願っています。どうぞこれからも、私たちの宣教を支えてくださいますようお願いいたします。

この一年を振り返りながら、たくさんの方々を通して、多くのお恵みを頂いたこと、多くの素晴らしい出会いがあったこと、多くの喜びそして悲しいことがあったことなどしみじみと思い起こし

ながら、新しい年が、皆様にとっても、実り豊かで、幸多き年でありますように、ボリビア共同体一同、心を合わせ、お祈り申し上げます。

2018年11月22日

創立者アントニオ・カヴォリ神父様を偲びながら
イエスのカリタス修道女会 シスターズ



オガールファティマ乳幼児院



カリタス学園



オキナワコロニア



コチャバンバでの活動



ブラジルより

イエスのカリタス友の会の皆様
クリスマスと新年のお喜びを申し上げます。皆様
のお祈りとご支援に支えられていること心より
感謝いたします。

まず、ブラジルの現状についてお知らせいた
します。現在の社会の実状は不況が続き、さらに悪
化するばかりに見えます。人々は、経営者も、従
業員も、最近の政治経済の方向性に、大変憂慮し
ています。自分たちの生活を維持する仕事を得ら
れず、それが将来への不安と社会への懸念となっ
ています。この不況はさらにたくさんの失業者を
生み出しました。

教育の現場においても、一般的な学校では、構
造の不備、教育科目の問題、栄養管理が不適切な
給食、学校の教職員・従業員の低い給料などは、
生徒たちに悪影響を及ぼし、生徒たちは進学の準
備や未来への関心や興味を無くしてしまいます。
このような不況の深刻化に伴い、多くの家庭が子
どもたちを私立の学校から公立の学校に編入さ
せています。ですから、私たちのような私立の学
校には、子どもたちがより良い道を歩むことがで
きるように教育の質を求めています。

私たちは、教育の現場や関りある人たちと共に、
このブラジル社会により良く貢献できるように、
献身的に努めて行きたいと思っています。特に、
薬物の問題、性の悪用、暴力など社会的困難の前
に落胆する人々や労働者を通して、彼らが人間と
しての尊厳と喜びをもって生きていくことがで
きるように努力したいと思えます。

ご支援頂いているカリタス学園
の様子をお知らせいたします。
学校の大きな行事として文化発
表会があります。生徒たちが一
年間かけて勉強したこと、グル
ープでの研究活動、展示、数学の
オリンピック競技、演劇を保護者、招待した方々
に見て頂きます。この日は、両親、教師、生徒が
一緒にミサに参加し、一年の間に頂いたお恵みを
感謝する日でもあります。教師たちは月に一度、
カリタス学園の精神について研修します。これは
ドンボスコの予防的教育を浸透させていく目的
としています。生徒には毎日、シスターと教務に
よって朝の勧め（ボン・デア）をおこなっています。



その他授業料の援助を受けている生徒の両親
を学期ごとに招き、生徒の学業、生活の状況につ
いて報告します。学園の生徒たちは、毎年クリス
マスの頃になると、使用できる衣服（中古品）や
食糧、おやつを集めて、学校に来られないもっと
貧しい子供たちに、プレゼントを届けています。
ブラジルのため、特に学
校で経済的に困難を抱
える子どもたちのため
に多額の授業料支援を
頂いているカリタス友
の会の皆様心から感謝致します。ブラジルの現
状をご理解くださり、これからもどうぞよろしく
お願い致します。



フィリピンより

Maligayang Pasko! (マリガヤン・パスコ)

日本は来年5月の改元で新しい時代に突入しよ
うとしていますが、皆様におかれましてはいか
がお過ごしでしょうか？近年のデジタル時代に



において日本だけでなく世界は目まぐるしく変わ
っていらっしゃいますが、教育の現場では常に変わ
っていくものと変わらないもの、両方の大切



さを教える必要があると思っています。

今年のカリタスドンボスコスクールは、国際的な活動が目立ちました。今や姉妹校の都城聖ドミニコ高校のみならず、横浜サレジオ学院、日向学院、サレジオ高専などの学校と定期的に交流を行いました。また、H財団主催の海外児童日本体験プログラム、そしてロボットチームの海外での大会参加などを全力でサポートしてきました。それもこれも、これらの海外での体験を通して生徒たちに「井の中の蛙」にならないよう、グローバルな視野を持って勉学に励んでもらいたいと願ってのことです。

特にロボットチームは、10月に東京ビックサイトで行われたワールドロボットサミット(WRS)のジュニア部門ホームロボットチャレンジで2位、日本機械学会会長賞という成績を収めることができました。「人とロボットが共生・協働するとは何か」というテーマに沿って、並み居るハイスペックをもったロボットを前に、いくつもの失敗を重ねながらリサイクル用品から作り出したロボットで、生徒たちは連日の寝不足もなんのその、精一杯のプレゼンテーションをしてくれました。このWRSと同時開催だったIRH(インターナショナルロボットハイスクール)は去年に続いてベストスタディ賞を頂きました。

ロボット大会も日本語研修も大会で勝つことや何か人より優れたものになるということが目的ではありません。私たちが努めて教えているのは、「謙虚な姿勢で学び続けること」、「ベストを尽くす」そして「感謝する」「あきらめない」ことです。

ところで、今本校が直面している問題は環境汚染です。以前学校は道路から10メートルほど離れており、夏になると沿道に植えられたファイヤーツリーが燃えるようなオレンジの花を咲かせるきれいな場所でした。去年よりその木は伐採され、空き地は掘り返され、高速道路と一般道路[私有地]の工事が着々と進んでいます。住民には大まかな説明しか与えられず、どんなにお願いしても学校と道路の間がどうなるのかという実際の完成予定図も見せてもらえず、嘆願書をいろんな部署や有力者に出しても何の返事もありません。以前はすぐ隣の教会(500メートル)に行くのに5分もあれば往復できたのが、今は大幅に迂回しないと行けなくなり、渋滞なしで片道10分、渋滞だと更に30分以上かかります。学校の前は高速道路を挟んで一般道路が走ることになり、工事中の粉塵・騒音・振動だけでなく、工事後は車の騒音・排気ガスで環境は更に悪化することでしょう。それにも関わらず、交通騒音に対する法のようなものがフィリピンにはなく、工事も利益優先でもともと生活している住民などへの考慮はありません。防音壁などが必要であれば自費でしなければなりません。今後の入学者数に影響があるだろうことはほぼ確実です。

これらの障害を乗り越えながら、来年も生徒たちが安心して通うことのできる学校であるように、皆様のお祈りとご支援をこれからもどうぞよろしくお願いいたします。

サンタローザ修道院共同体一同
カリタスドンボスコスクール
生徒、教職員、修道者一同



学校前の一般道路



学校校門前



埃まみれの植木



南スーダンより



イエスのカリタス友の会の皆様へ
主のご降誕のお喜びを申し上げます

皆様の温かいご支援に支えられた2018年も、まもなく終わろうとしています。この2018年は、南スーダンにとって大きな変化の年でした。くすぶっていた部族間の争いに終止符が打たれたからです。10月31日南スーダン周辺国の大統領の出席のもと平和の式典が行われました。今年の初めより、部族間のリーダーたちの話し合いが他国の支援の下、何度も行われましたが、なかなかうまく進まず、一時はまた大きな内戦になるのではないかと懸念されていましたが、平和再構築の道がまた開かれました。

しかし、独立国となって5年の間に2度も大きな内戦を経験した国民は、残念ながら、この平和協定に希望は持っていません。“また同じことが起こるだろう”と思っている人が少なくないのも事実です。実際、首都ジュバ以外の地域では、平和協

定に反発している反政府派が、銃を使ってまだ事件を起こしています。

教会もまだ平常ではありません。ある1つの教区は、カテドラル以外は、いまだに閉鎖しています。それでも、ここ首都ジュバの大司教区は、来年100周年を迎えるための準備の開催ミサが最初に建てられた教会で盛大に行われました。キリストの平和が南スーダンの人々の心に染み渡りますように、皆様の温かい祈りとご支援をお願い致します。

簡単ですが、このささやかな報告をもって2018年の感謝のお便りとさせていただきます。本当に、いつもありがとうございます。2019年が皆様にとって良い年となりますように、南スーダンの人々と感謝の祈りを捧げさせていただきます。

イエスのカリタス修道女会
南スーダン宣教女 シスターマリアボスコ下崎



小教区に南スーダンの次期教皇大使が来られ、ごミサの中で、食糧支援のセレモニーを行ないました。写真の物資は日本からの支援のものです。

今年、皆様からの支援金で野菜の種を買い、栄養価の高いトウモロコシ、サツマイモなどを育てました。子ども達と収穫しおやつに頂きました。

10月に南スーダンのシスター下崎からお便りが届いておりましたので一部を掲載いたします。

教会を挟んで難民と村人が住んでいますが、同じ国民ですが村人には食糧やお金の配布がないため、いつも対立が生じています。これを調和させるのは、簡単なことではありません。しかも政府は武力行使で脅すので、国民の不満解決はいつも教会へ向けられます。教会の役目の第一は、かれらの霊的生活を助けることですが、その前に空腹を満たさなければ、聞く耳持たずという状態です。ですから、私たちは少しでも彼らの生活を助けるように、仕事の提供、食糧の提供をしています。活動資金は、皆様からの支援金に頼るしかない現状です。何か、収入になる事業を始めなければ、焼け石に水で、寄付のお金で、食糧や給料を提供してもすぐに底をついてしまいます。

雨季に、何種類かの作物を植え、それを売ったり、配布したりしていますが、半年間は乾季で、砂漠状態になるので、農業の用水路のようなシステムを作らなければ、継続は難しいと思います。それでも、少しでも思い、井戸の水の提供をし、バケツで何回も水かけをしますが、これもすぐカラカラにひび割れするほどで、相当の量が必要になります。

乾季は50度近くなる中でこの作業はほぼ朝の2時間ほどしか、することができません。

南スーダンの国は、外国から大きな支援を受けていますが、国民のためには使われず、政治家の給料と、まだ軍の武器のために大金が使われているようです。

一つよいお知らせは、日本政府が支援したナイル川に架かる橋は、今は1本だけですが、日本企業が12月から本格的に橋をかける工事を行うそうです。このコーディネーターの方が、私たちを訪ねて来られました。この方は曾野綾子さんの知り合いで2013年に曾野さんたちが、ジュバの日本人シスターの家に泊まったという記憶をもとに、大使館に聞き、訪ねてこられました。現在仮の橋を架けている所へ案内して頂いて、その説明をしてくださいましたが、橋が架かる場所は私たちの住む近くのです。

日本からシスター高平が預かってきた支援金で食糧配布、子どもたちにミルクを買わせ頂きました。ありがとうございます。

2018年10月10日

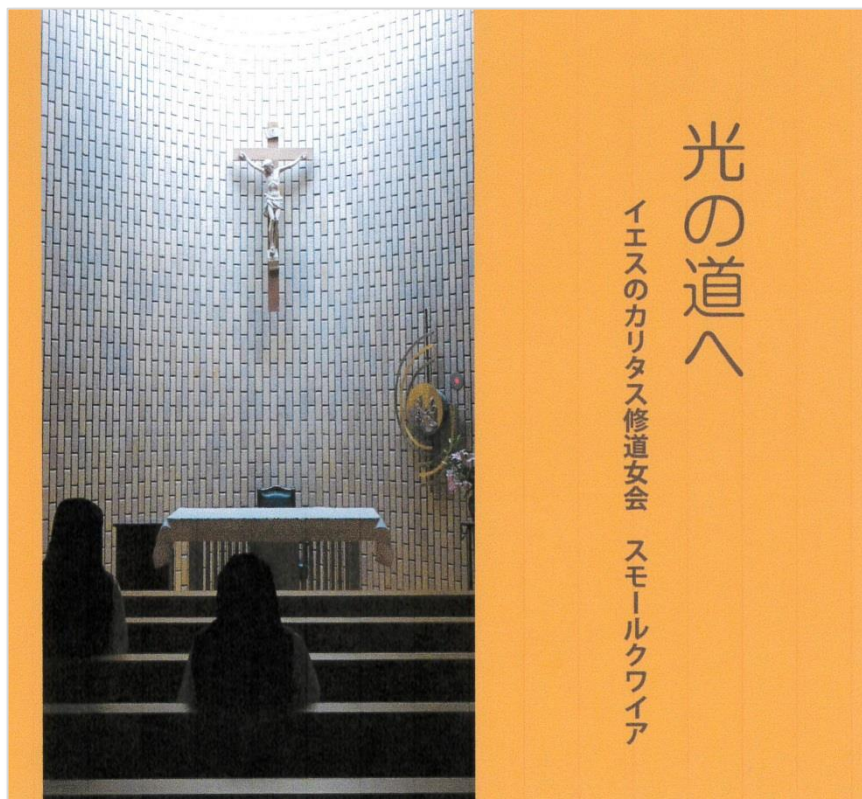
南スーダン共同体 シスターマリアボスコ下崎



CD 紹介

イエスのカリタス修道女会 スモールクワイア

光の道へ



1. 光の道へ
2. 主こそ わが光
3. 恵の風に帆をあげて
4. オナジムネ
5. 神のはからいは限りなく
6. アベ・マリス・ステラ
7. Pietà
8. 救いの右の手
9. 土の器
10. ひとりぶんの足あと
11. 聖霊のうた
12. どんなときもあなたを
13. 平和の祈り
14. 巡礼の歌
15. Chi ci separerà
16. あこがれのサン・パウロへ

2018年12月に5枚目のCD「光の道へ」ができました。演奏はこれまでより人数が少なくなりましたが、シスターたち、修練者・志願者たちと心と声を合わせ、祈りながら今できることを精いっぱい頑張りました。そして何よりも修道院のシスターたちや知人の皆さんの励ましお祈りに支えられました。私たちの祈りを必要としている方々やイエスのカリタス友の会を通して外国の困難にある方々の支援のために使用されます。どうぞご利用くださいますようお願い致します。

これまでに出版された4枚のCD



わたしをお使いください



心からの感謝と



かけがえのないいのち



祝福の歌

お問い合わせ

CDをご希望の方は、お電話、メール、FAX、振込用紙のいずれかの方法でご注文ください。その際、次の必要事項をお知らせください。

- 1) お名前
- 2) ご住所
- 3) お電話番号
- 4) CDの種類
- 5) CDの希望枚数

お問い合わせ先

TEL : 03-3396-2171 FAX : 03-3396-2150

email : tomonokai@m-caritas.jp

イエスのカリタス友の会事務局

バザーの報告

井荻聖母幼稚園サマーフェスタ



暑い夏の一、7月1日に井荻聖母幼稚園サマーフェスタに参加させていただきました。友の会の売場の珍しい品揃えを、分かって下さるお客様が増え、盛況でした。修道院で茹でてくださるとうもろこし、今年は梅味噌はじめ皆様からのご好意と祈りのお品が並びきれないほどで感謝いっぱい！特に、可愛い園児に慰めを頂いた楽しいフェスタでした。



目黒サレジオ幼稚園バザー



9月8日、目黒サレジオ幼稚園バザーに出店させて頂きました。シスターの手作りのマドレーヌ、パウンドケーキ、寄贈品、雑貨、玩具などを並べて準備OK。列を作って待っていたお客様が開場と同時にドットとお店を囲み、中でも玩具は人気で、特にミニカーなど園児、小学生が目の色を変えて選んでいました。子ども達の楽しい会話を聞き、またお客様とのやりとりにも私たちも楽しませていただきました。活気に満ちたバザーに参加できたことを感謝します。



カトリック下井草教会フェスタ



10月28日、朝10時半から午後2時まで開かれた下井草教会フェスタは、風も無く好天に恵まれ、大盛況でした。今年は、暖冬の影響で寒さを感じることなく、皆さん張り切っておりました。「友の会」は、恒例のシスター手作りのパウンドケーキ、マドレーヌそして、シスターのお母様の真心籠もった手作りイチジクジャムなど、どれも大好評で完売!!今回は、雑貨、衣類、食器なども皆様、沢山お求め下さいました。この様に、皆様方のご協力が頂けました事に、深く感謝を申し上げます。





町田サレジオ幼稚園フェスティバル



晴天に恵まれた 10 月 20 日（土）、今年から夏祭りとは一緒にして“町田サレジオ幼稚園フェスティバル”と変わった町田サレジオ幼稚園に今年も友の会は、出店させていただきました。開園 4 年目園児 90 名が通園している園は、園庭に人工芝がしきつめられて陽当たりもよく園児が楽しく過ごせる環境への心配りが感じられました。今年は、晴天でしたので園庭には、ヨーヨー釣りに長い列ができていました。友の会は、シスターお手製のマドレーヌ、パウンドケーキ、新登場の奄美大島の黒糖を使った蒸しパンが並びました。お父様にビーズのロザリオを“1 つね”と言われた園児が真剣に品定めをしてお気に入りを見つけしていました。秋晴れの半日を気持ちよく過ごすことができました。小島園長先生はじめ教員、保護者の皆様に感謝いたします。



カトリック調布教会バザー



10 月 28 日（日）調布教会のバザーが開かれました。お天気に恵まれ沢山の方にいらして頂きました。特に毎年好評シスター手作りマドレーヌ パウンドケーキ、いちじくジャムは飛ぶように売れました。又皆様からのご協力で集まった便箋 アクセサリー等は、まるで宝物を探す様な勢いでお買い求め頂き楽しんでいただけたと思います。皆様の善意のご協力があればこそです。ありがとうございました。



カリタスの園ふれあいバザー



11月4日、朝からどんよりとした空を眺め、どうかバザーの間は天気が持ちますようにと祈りつつ、ふれあいバザーが始まりました。毎年子供たちが楽しみにして下さる宝釣りゲームを始め、皆様からご寄付いただいた衣類や日用品など並べて準備しました。多くの方が立ち寄ってくださいました。12時ごろは雨足が急に強くなり、一時はどうしようかと思いましたが、我慢すること30分、雨もやみバザーを続ける事が出来ました。神に感謝。

バザー協力者 43名（団体含む） 寄付支援者 176名（（団体含む）

使用済み、未使用切手・書き損じハガキ・外国コイン 52名（団体含む）

ご支援、協力いただきました。ありがとうございました。

4組の方がご入会くださいました。よろしくお願い致します。

イエスのカリタス友の会入会案内

イエスのカリタス友の会は、イエスのカリタス修道女会が行う宣教活動を、財政的に支援する事を目的とするボランティアグループです。

会員の活動

任意の時期に、任意の金額を友の会に寄付します。
（入会費・年会費はありません）
可能であれば、バザー、使用済み切手の収集・整理、その他の活動に参加、協力します。

入会について

入会ご希望の方は、下記の事項について事務局にお知らせください。
住所・氏名（ふりがな）・電話番号・FAX・メールのいずれかで結構です。

入会希望を受けて、事務局にて名簿の登録その他事務手続きを済ませた後に、イエスのカリタス友の会の規約をお送りいたします。

個人情報について

入会時に受け付けた個人情報は、友の会事務局にて慎重に管理されます。同会会員に対しても公開は控えさせていただきますので、ご了承ください。尚、ご寄付・バザーの物品提供・使用済み切手の収集等にご協力いただいた際には、次回発行される「イエスのカリタス友の会だより」にお名前のみ掲載させていただいております。匿名希望の方は、その旨をお知らせください。

友の会会員のために

イエスのカリタス修道女会日本管区本部において、毎月一度友の会会員のために、感謝のミサが捧げられます。ご支援くださる方への感謝と報告を兼ねて、年2回「イエスのカリタス友の会だより」をお送りしています。

イエスのカリタス友の会の趣旨をご理解くださり、賛同してくださる方は下記までご連絡ください。

〒167-0021 東京都杉並区井草 4-20-5

イエスのカリタス友の会事務局

TEL 03-3396-2171 FAX 03-3396-2150

Email tomonokai@m-caritas.jp



事務局からの声

娘がマンションのリフォーム中の工事現場を見につれて行ってくれた。新しい木の香りに夫婦がワクワクするおもしろい気分がわってくる。帰り道広々とした都立武蔵国分寺公園を歩くと、真っ赤に燃えるもみじ黄金に輝くいちょう、黄色のじゅうたんを歩いていると、冬桜が寂しげに咲き子供たちの元気な声が響き渡る、初冬の風を時々感じながらの他愛ない娘とのおしゃべりしながらの公園散策。心が元気になったひと時でした。待降節に入り、厳しい環境の中で働いていらっしゃるシスター方を思い自分自身が喜びを感じて毎日を過ごさなければ、何も生まれないうと身体と心に言い聞かせ、祈る毎日です。(T.I.)

待降節に入りました。数年前 私達のシスター達が働いていらっしゃる南米を訪問させていただいた時の事を思い出します。南半球のクリスマスはどんなでしょうかと楽しみに出発いたしました。ところがシスター方が働いていらっしゃる場所はクリスマスの飾りも殆ど無く夜になると2千年前のベツレヘムを思わせるような沢山の星空が広がる静かな場所でした。子ども達にサンタクロースの飾りの付いたクリップをお土産に持っていきました。子ども達はそれを不思議そうに見つめました。この子達にサンタクロースが沢山のプレゼントを持ってきたことは無かったのでしょうか。一粒の飴の方がよほど喜んでくれました。そんな幼い子ども達の為に深い愛情でお世話をしているいらっしゃるシスター達の ささやかなお手伝いをさせていただけることに感謝致します。子ども達が幸せなクリスマスを迎えますように。良いクリスマスを (K.Y.)

今年も一年が終わろうとしています、自然災害などで未だに不自由な生活を余儀なくされている方々のために祈ります。一日も早く穏やかな日常が戻ってきますように。(H.Y.)

カリタス会スモールクワイヤ5枚目のCD「光の道へ」がやっとできました。録音を始めてからいつの間にか、3年近くの月日がたっていました。祈りを込めて作り上げたCDです。ぜひ、手にとって聞いてください。(M.T.)

先日、都内の野宿者を長く支援されている神父様のお話を聞く機会がありました。オリンピックに向けて都市再開発が進み、住まいとしている公園などが立ち入り禁止になり行き場を無くしている野宿者の現状を知ることができました。そして、今年も各地で豪雨災害、台風、地震と大きな自然災害が起こり犠牲になられた方々と、住まいや職場をなくし不自由な生活を送っておられる方々のことを思うとき、環境も立場もまるで異なるこれらの状況が重なってしまいます。神父さまはお話しの結びに、①学ばなくてはいけない②声にして回りに伝える③諦めずに前に進む。と言われました。私もできることを大切にして学び前に進みたいと思います。新しい年が穏やかな年でありますように。(K.K.)

今年もクリスマス号の発行となりました。一年が早いです。今夏は、各地で最高気温を更新しました。9月に後藤寿庵の足跡を訪ねてみました。水沢では、小学校の副読本に取り上げられているとのことでした。その後、寄った福島県国見の桃農家さんは、若いご夫婦が、風評被害も残る中よい桃を作っていましたし道の駅では、ケーキ作りに桜の聖母短期大学生も加わっていて、復興に向けた若い人たちの力を頼もしく思いました。(Y.F.)

10月13日(土)日本での初めての「受刑者の為のミサ」が菊地大司教様司式の元で行われました。10数名の出所者は、御ミサに参列される方々に式次第を渡す時、「長い受刑生活を終えて、一般の人と接する機会が少ない為、もの凄く緊張した」と話しておりました。この御ミサでは、イエスのカリタス修道女会のスモールクワイヤ(聖歌隊)の御協力を頂いておりました。清らかな歌声が天使のようで心が洗われたと口々に喜んでいました。因みに、スモールクワイヤには、「友の会」事務局のお二人のシスターが所属しております。この歌声はCDになっております。今年も世界の各地で活動されているシスター方の要望に応えられたのも、友の会員そして、御協力下さいました皆様方の御厚意の賜物でございました。心より感謝を申し上げます。(Y.M.)

バザーのお知らせや報告、スモールクワイヤによるコンサートのお知らせ、活動報告などが、イエスのカリタス修道女会のホームページでもご覧になれます。海外や日本で働くシスターたちの宣教活動、CDのお申し込み方法なども載せてありますので、ぜひご利用ください。 <http://www.m-caritas.jp>

寄付金受入れ口座

加入者名 イエスのカリタス友の会

郵便振替口座 00160-2-564970

発行 イエスのカリタス友の会

〒167-0021 東京都杉並区井草 4-20-5

TEL : 03-3396-2171 FAX : 03-3396-2150

e-mail : tomonokai@m-caritas.jp

代表 山縣久美子 事務局長 片山久美子